

場の研究所



hakushindo CAMPUS



REPORT 2017 vol.33
特別講座

リビングライブラリー

- 日時：2017年10月22日(日) 10:00~17:00
- 会場：森の共育実修所「点塾」
- 参加人数：36名

[プログラム]

- 清水博先生よりメッセージ
- 基調講演「おかげさま・おたがいさまの社会を実現する」
- リビングライブラリー
- 総括

活かし活かされる与贈循環の実践 哲学塾2017

毎年恒例となっている哲学塾。今年は初めての試みとして、NPO法人場の研究所 所長・清水博先生をお招きするとともに、東京、愛知、新潟から与贈の実践者ゲストの方にもご参加いただき、その取り組みを共有しました。

基調講演はヒューマンヘルスケアのエーザイ株式会社知創部部長・高山氏の実践としてリビングラボの活動をご紹介します。リビングライブラリーでは6組の実践者の方を囲んで、各グループに分かれて活動に対する質問やそれぞれの課題を共有しました。参加者の方々も皆各地で実践されている方々ばかりだったので、グループでの話し合いもお互いの活動のヒントになったようです。

当日は台風が日本列島を直撃し、ゲストの方々の交通状況にも影響が出たほど。そんな状況の中でご協力・ご参加いただいた皆様に感謝申し上げます。ここからまた新たな交流と実践が生まれる予感がする講座でした。



NPO法人場の研究所
所長
清水 博 氏



エーザイ株式会社
知創部部長
高山 千弘 氏



リビング ライブラリー

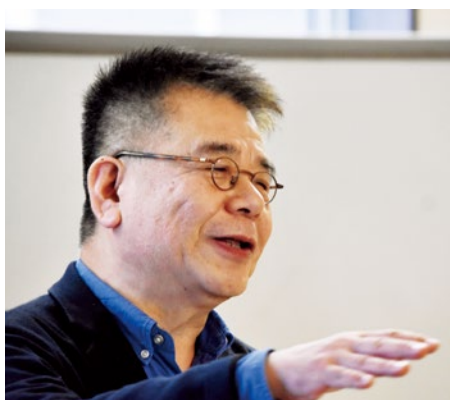
多様な人々を「生きている本(Living Books)」に見立て、「参加者=読者」に貸し出す。「読者」は一定時間、語り部である「本」と対話することができる。通常の貸し出しと異なるのは、言うまでもなく本が生きている人間であること。「読者」もある一定のルールに基づいて、「本」に質問をできることだ。「読者」は、「本」の経験や考えを聞き、また、「本」も「読者」との対話や「本」同士の対話において、自己や他者に対して新たな気づきを得る。



📖 NPO法人
サイエンス研究所/
アズワンネットワーク
鈴鹿コミュニティ
坂井 和貴 氏



📖 株式会社鶴田商会/
Eco-Branch
鶴田 紀子 氏



📖 清水岡部事務所/
好奇心の森
ダーウィンルーム
清水 隆夫 氏





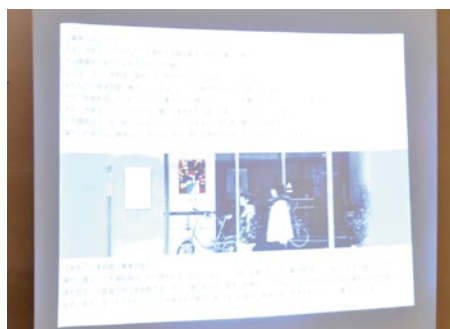
宮尾農園/
自然栽培新潟研究会
宮尾 浩史 氏



平和堂薬局
坂本 雅敏 氏



株式会社ハウハウス/
まちごと美術館
cotocoto
肥田野 正明 氏





点塾で「場の研究所」の清水博先生をお招きして恒例になっている「哲学塾」。名古屋、東京、新潟で資本主義に限界を感じ、新しい持続可能な社会づくりに取り組んでおられる方々が四十名近く集まれ、とても素敵な出会いと交流の場になりました。清水博先生の講話は、場は、外側にあるものではなく、場と与贈することによって心の中に映し出されるものであるという最先端の場の理論でした。このお話とゲストの方々の事例を聞いて、「想いやイメージが先」と考えていた意識が一変し、「与贈が先で、与贈することによって想いやイメージが生まれる」ということに気づかされたのでした。

えにし屋主宰
清水 義晴

発行：株式会社 博進堂 博進堂大学
<http://www.hakushindo.jp/univ/campus.html>

